

第1回多摩地区5国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 開催日及び場所 | 平成25年11月19日(火) 電気通信大学 80周年記念会館(3階)会議室 | |
| 委員 | 委員長 林 静雄 (大学名誉教授) 委員 清水 至 (公認会計士) 委員 竹岡 八重子 (弁護士) | |
| 審議対象期間 | 平成25年1月4日～平成25年6月30日 | |
| 抽出案件(合計) | 6件 | <p>(備考)</p> <p>今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。</p> <p>抽出案件の個別審議は、委員3名により審議を行った。</p> <p>その際、別紙「資料8-①～⑥. 5大学建設工事及び設計・コンサルティング業務抽出案件」の審議に基づき、各発注機関の担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。</p> |
| 工事(小計) | 5件 | |
| 一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事) | 0件 | |
| 一般競争入札 (上記工事を除く) | 5件 | |
| 工事希望型競争入札 | 0件 | |
| 通常指名競争入札 | 0件 | |
| 随意契約 | 0件 | |
| 設計・コンサルティング業務(小計) | 1件 | |
| 簡易公募型プロポーザル方式(拡大) | 1件 | |
| 委員からの意見・質問, それに対する回答等 | 意見・質問 | 回 答 |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申 又は勧告の内容 | なし | |

| 質 問 | 回 答 |
|---|---|
| <p>1. 配布資料について委員会庶務担当である電気通信大学より説明</p> <p>◎資料について、委員よりの質疑事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考資料4の審議対象建設工事等に関する点検事項の標準プロポーザルについて、一橋大学では5社に提出要請をしたうえで選んだとあるが「東京農工大学府中幸町団地農学部1号館改修設計業務」ではどのような過程で選んだのか。 ・一橋大学は5社に要請をして、提案してきたのは何社か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・6社に要請して、6社から見積書徴収を行い選んだ。 ・5社全てより提案され、見積書徴収を行い選んだ。 |
| <p>2. 建設工事および設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議</p> <p>2-1). 一般競争入札方式</p> <p>【(吉祥寺) 外国人教師宿舎改修機械設備工事 : 東京外国語大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加申込みをしてきた3社のうち2社の入札参加を認めなかったのは何故か。 ・落札工事業者のA社の規模はどのくらいなのか。 ・入札申込みをしてきたB社は、工事实績が無いということだが、大学などの入札経験の無い会社なのか。 ・参加申込みをし、書類を出さなかった工事業者に提出をしなかった理由は確認したのか。1社入札にならないように努力として、フォローアップをする必要があったのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・1社は施工実績が無く、1社は施工実績の根拠書類の提出が無かった為。 ・会社の規模に関しての資料を本日持参していないためはっきりしたことはわからないが、C等級の工事業者です。 ・必ずしもそうでは無いが、書類作成に誤解があったのか、今回本学が提示している空調設備・給排水設備の工事实績のうち、空調設備が無かった。 ・フォローアップはしていない。今後、フォローアップ等を行うように改善をしていく。 |

別紙

| 質 問 | 回 答 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・入札申込みをし、書類を提出した C 社は工事実績の根拠は無かったのか。 ・入札申込みをしてきた工事業者には、どのような書類を提出しなければいけないのか指示をしたのか。 ・判断基準となる書類について、雛形等が必要だったのではないかと（入札に慣れていない工事業者にはわかりにくかったのではないかと）。 ・入札説明書に赤字等で必要な書類を明示した方が良かったのではないかと。 ・工事実績について、15年前まで延ばしているのは全ての入札でそうしているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実績を確認出来る根拠資料の提出が無かった。 ・細かく指示はしていない。口頭での説明を増やすと業者により説明を受けた程度が異なることになり、公平さが損なわれることを危惧した。 ・入札説明書を読めばわかる仕組みとなっている。 ・今後書類作成について検討する。 ・なるべく範囲を広げるという事で15年前としている。 |
| <p>(委員より、今後は上位の等級を入れるなど入札業者を増やす工夫をした方が良い。)</p> <p>2-2). <u>一般競争入札方式</u> 【附属幼稚園小金井園舎入口付近環境整備工事：東京学芸大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の工事に該当する工事業者は、何社くらいあるのか。 ・それだけの工事業者があっても、1社しか入札申込みが無かったのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・小金井市は1社、三鷹市・調布市等まで範囲を広げるとD等級38社、C等級31社、B等級12社で計81社。 ・電話により情報提供をしたが、年度末のため主任技術者の確保や人手が無いこと、及び小額工事だったことなどが原因だと思われる。 |

別紙

| 質 問 | 回 答 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格の施工実績に敷地面積550㎡とあるが、工事の敷地面積の80%が必要な理由は。 ・基準を下げた方が良かったのではないか。 ・工事発注が年度末になった理由は。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の工事には、植栽工事等も含まれており、施工規模、機能的なもので判断した。 ・今後は、工事内容などにより基準の見直しを検討する。 ・予算執行状況の問題。安全・安心に工事が出来る春休みに期間が限定されていたため。 |
| <p>2-3). 一般競争入札方式 【小金井団地外灯改修工事：東京農工大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この工事は、作業員が何人でどのくらいの工期で施工出来るのか。 <p>(委員より、人件費（人工等）を把握し、今後見直しをするようにした方が良い。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後のメンテナンスはあるのか。 ・8-③資料図面にメーカー名を記載されているが、そのメーカーの製品しか使用することが出来無いか。 ・入札価格で最高値と最低値の差額について、機材の価格等の比較検討しているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・2～3人で、1～2週間程度。 ・LED器具なので、更新時期まではポールの塗装程度。 ・参考として記載したものなので、同等のものであれば問題無い。 ・そこまでは行っていない。 |
| <p>2-4). 一般競争入札方式 【構内電話交換設備改修工事：電気通信大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低入札の原因である電話交換機の価格は、直接工事費の中に入っているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・入っている。 |

別紙

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 電話交換機の価格差はどれぐらいなのか。 ・ 工事業者の労務費が安価な理由は。 ・ 労務費の差額はどれぐらいなのか。 ・ 最低基準価格の設定は。 (委員より、今後大学側の対策が必要。) ・ 金額差を縮めるにはどのようにするべきか検討しているのか。 ・ 工事業者は利益が出ているのか。 ・ 電子入札業者と紙入札業者で価格に違いがある理由はあるのか。 ・ メンテナンスは、どこが行うのか。 ・ メンテナンスは、随意契約で行うのか。 (委員より、メンテナンス費用で利益を出しているのではないか。メンテナンスも含めて入札させるなど、全体的に確認した方が良い。) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の積算価格の37%程度となっている。 ・ 下請け業者を使用せず、自社の社員が担当して施工可能なこと。また、専門業者としての過去の実績による。 ・ 工事業者の労務費は、本学の積算価格の45%となっている。 ・ 文部科学省の最低基準価格算出方法を採用している。 ・ 他大学の実績等を確認して査定率を検討している。 ・ 交換機を安く仕入れている事と、通常下請けが入る所を自社の社員を使用することで利益を出していると思われる。 ・ 偶然だと思われる。 ・ 今後のメンテナンスは、電話交換機代理店でもある工事を請け負った工事業者が行うことになる。 ・ 小額の場合、随意契約で行う。 |

別紙

| 質 問 | 回 答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・法人化後、他大学等と工事の機材価格等の情報交換はしているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・他大学等と情報交換を行っている。 |
| <p>2-5). 一般競争入札方式 【第2中和寮（仮称）エレベーター工事：一橋大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回指定されたエリアで、業者はどれくらいあるのか。 ・見積書は、何社徴収したのか。 ・エレベーター工事は、この時期多かったのか。 ・予算は、補正予算なのか。 ・早めに発注することは出来無かったのか。 <p>(委員より、なるべく2月～3月は工事を出さない方がいいのではないか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物も同時に発注しているのか。 ・監理技術者の兼任は認めているか。 ・エレベーター業者16社のエリアは関東地区なのか。エリアの拡大は難しいのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーター製作会社は16社。 ・10社に依頼して、8社から見積書の提出があった。 ・国立大学附属病院等で老朽化による工事が、かなりの件数発注されていたようで工事件数は多かった。 ・目的積立金。 ・毎年少しずつ積み立てた予算であり難しい。この時期に発注する予定を組んでいたら、補正予算等の工事が思わぬ規模で同時期に他大学等へ予算化されてしまった。 ・建築・電気・機械も同時期に発注している。 ・近くの現場であれば、兼任で良い場合もある。 ・関東地区に事業所等が無いとメンテナンスが難しい。 |

別紙

| 質 問 | 回 答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> エレベーター機械室レスは、16社全てで対応しているのか。 | <ul style="list-style-type: none"> 全てではないが殆どで対応している。本工事建物には機械室設置場所が無いので、機械室レスの実績を重視した。 |
| <p>2-6). 簡易公募型プロポーザル方式 (拡大) 【小金井団地総合会館改修その他設計業務 (設備) : 東京農工大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計には新営は含んでいないのか。 添付の資料図面には、新営に関する部分が記載されていない。 参加資格地域は、関東地区以外の地区は入れなかったのか。 設計時期を変更出来無かったのか。 | <ul style="list-style-type: none"> 文部科学省に要求はしていないが、新営も含めて一括で発注を行った。内訳では、新営(学内予算)と改修(文部科学省予算)を分けて算出した。 添付資料図面は、文部科学省への要求図面であるため、新営に関する部分が記載されていないが、入札参加業者には、新営に関する部分を記載して渡している。 参加資格地域は、関東地区とした。 予算の関係上設計時期の変更は難しい。新営を含め特定行政庁への手続き等に時間もかかるため、当初予算が決まってすぐ発注した。 |
| <p>(全審議対象事業に関して、補足質問はありませんでした。)</p> <p>講評 (委員長より)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な入札が行われている。 なるべく競争を増やす努力をしてほしい。 低価格入札等もあったので、基準価格の適正な設定のための努力を継続してほしい。 | |